

# 船橋市市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集



## 「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。

「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」は、当事業を創設した平成22年度から、事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しています。これまで作成した事例集は、市ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率	限度額
<b>事業立上型</b> 設立から3年未満の市民活動団体が行う新規公益事業の実施に対し交付する支援金（交付は1回に限ります。）	支援対象経費の80%以内	20万円
<b>事業提案型</b> 市が市民活動団体から提案を受けた公益活動の事業費に対し交付する支援金（同一事業による継続は原則3年度を限度とします。）	支援対象経費の50%以内 ※	100万円

※ 提案内容が特に公益性の高い事業であると認められた場合は80%

平成31年度実施事業の募集から支援金の内容を一部変更しています。  
 令和2年度実施事業の募集については、広報ふなばし（令和元年8月15日号）にてお知らせします。また、募集の詳細については、「令和元年度実施事業募集要領」をご覧ください。  
 ※募集要領は令和元年8月15日～10月31日までの期間、市ホームページに掲載する他、市民活動サポートセンター、市民協働課、市内の出張所及び公民館等で配布予定です。

## 【市民公益活動公募型支援事業 平成30年度実施事業一覧】

No	団体名	事業名称（全て事業提案型）	頁
1	子ども食堂こっこ	こっかが街にやってくる&こっこで学ぼう	2
2	船橋パパ会	「家族で子育てを楽しむ地域づくり～パパが変われば地域が変わる～」	3
3	船橋市手話サークル さざんか	ひろげよう“手話の輪”！聞こえない人たちも暮らしやすい船橋に	4
4	ワーカーズコープちば	制服バンク	5
5	NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	6

## 【平成30年度実績詳細】

	申請（件）	採択（件）	交付（件）	支援金確定額(円)
立上型	5	3	2	48,704
提案型	7	3	3	387,569
合計	12	6	5	436,273

## 【これまでの実績】

	交付数（件）			支援金確定額（円）
	立上型	提案型	計	
平成22～30年度合計	29	119	148	26,790,591

## 〔子ども食堂こっこ〕

## 【団体の概要】

子どもの孤食解消、居場所作り、および多世代の地域交流を目的として、平成 29 年 4 月よりららぽーとそばの湊町地区で、毎月第三日曜日の 12 時～14 時に子ども食堂を開催しています。子どもだけでなく大人も参加できます。

食事代は中学生までは無料、大人からは協力金として 500 円いただいております。



【子ども食堂こっこのスタッフ】

## 事業報告

【支援金確定額：4,038 円 支援率：17.9 %】

## ■実施した事業の内容

## こっかが街にやってくる

より多くの子どもや大人たちに、子ども食堂の楽しさや意義を体験して知ってもらうため、普段子ども食堂を開催している湊町地区を離れて、宮本地区下宿自治会館にて「出張子ども食堂」を開催（2019 年 3 月 16 日実施）。子ども食堂に来るのは初めてという小学生や乳幼児を連れた母親、家族連れが多数参加。地域の民生委員や小、中学校の校長・教頭先生も来場した他、地域の中学校の親父の会有志 11 名も見守り協力をしてくださった。参加者は子ども 38 名、大人 37 名。スタッフ 34 名。実施のための使い捨て容器の経費を支援金から支出しました。

## こっこで学ぼう

船橋市の豊かな漁業、農業を子ども達が知る入り口となる企画。子ども達が仕事に従事している人の話を直に聞き、魚や野菜に触れることにより漁業や農業に関心を持ってもらい、食べ物大切に作る心を養うことが目的。子ども食堂ならではの企画として、魚介類や野菜を提供いただいている漁師さん、農家さんのご協力のもと計画を立てました。「お魚教室」（2018 年 6 月 24 日実施）では、子ども食堂開催時にお借りしている喫茶店に船橋港の漁師山本氏を講師に招き、船橋の漁業についてスライドで学んだ後、船橋港で水揚げしたスズキを子ども達の目の前でさばいてもらいながら、魚について解説をしていただいた。その後うしお汁にして全員で食した。普段は魚が苦手という子どもも美味しく食べられた。魚に触ってみたり、講師の先生に質問したりと、子ども達の感心の高さが伺えた。参加者は 19 名。引率の大人も 10 名参加。実施のためのスズキ等の経費、講師への謝礼を支援金から支出しました。「農業体験」（2018 年 11 月 11 日実施予定）は、高根町の農家さんの協力を得て、8 月末に種を植えていただいたニンジンの収穫を体験する予定であったが、10 月に襲った台風の影響でニンジンの生育が大幅に遅れる見込みとなり、実施を断念。中止を惜しむ声も多数ありました。バス代及び保険代、実施のための経費を支援金から支出予定でした。



【お魚教室の様子】

## ■事業の成果と今後の展望

「出張子ども食堂」では「初めて子ども食堂に参加したがとても良い取り組みだ」「また開催して欲しい」という声もいただき、利用者の拡大と子ども食堂への理解を広げることができました。継続開催を望む声も多く、今後も開催していく予定です。こっこで学ぼうの「お魚教室」と「農業体験」は、子どもの関心も高く、より多くの子どもに体験してもらいたい内容であり、一家庭では実施できない子ども食堂ならではの企画として次年度も本助成を受けて実施したいと考えております。

■問い合わせ先：代表 笹田 明子（ささだ あきこ）  
TEL：090-1760-3907

Eメール：akikosasada2@gmail.com

## 〔船橋パパ会〕

### 【団体の概要】

船橋のパパを中心とした父親の育児参画を推進する団体。パパのネットワーク化を図ることで、パパの育児情報の共有と相互発信、勉強会や講座の開催による悩みの解消とネットワーク化を図る。子育てに前向きになれるような環境を作ることを目指す。活動を通してパパが船橋で子育てを楽しみ、地域につながりを作り、家族が生き生き暮らせる地域づくりへの貢献をする。



【第1回講座の様子】

## 事業報告

【支援金確定額：44,666円 支援率：80.0%】

### ■実施した事業の内容

- 第1回 講座名：プレパパ講座 講師：織田氏（FJ）、開催場所：山口病院  
（4月） 講座内容：プレパパ向けにパパになる事の楽しさを伝える講座を実施した。  
効果：産婦人科を開催場所にしたこともあり、プレパパの参加者からのコメントとして、積極的に育児に参加したいとの意見が上がり、父親の育児参加の意識向上につながった。
- 第2回 講座名：読書講座 講師：櫻井（船橋パパ会内部）、開催場所：勤労市民センター  
（6月） 講座内容：パパが子供と一緒に読書することの楽しさと、意味について講座を実施した。  
効果：参加者から翌日すぐに自分の本と合わせて子供の絵本を買ったとのコメントもあり、父親の子供の読書時間を通じた密接なかかわり合いの創出につながった。
- 第3回 講座名：パパの生き方講座1 講師：塚越氏（FJ 理事）開催場所：中央公民館  
（2月） 講座内容：現在の父親のあるべき姿、これからの父親像についての講座を実施した。  
効果：最新のデータを用いて父親の現在位置を理解でき、参加者のマインドセットにつながった。
- 第4回 講座名：パパの生き方講座2 講師：安藤氏（FJ 代表理事）開催場所：中央公民館  
（3月） 講座内容：LIFESHIFT を含めた新しい父親の生き方について講座を実施した。  
効果：LIFESHIFT のトップランナーの講座を直接拝聴したことにより、参加者アンケートからも多くの気づきに関する評価があった。 ※LIFESHIFT：新しい人生設計の手法

### ■支援金の支出内容

事業における講座・公演等の会場費・開催広告や講師料、開催時の保育支援料、および参加者募集のためのチラシを作成するための材料費や印刷費に支援金を支出しました。支援金を用いることで、より広く事業周知を行うことができました。



【第3回講座の様子】

### ■事業の成果と今後の展望

事業を通して、多くの方に参加をいただいたことにより、交流や連携を生むための「パパのイバショ」を確立することができた。今後は、引き続き 地域における「パパのイバショ」を広げるとともに、さらに、行政や各団体と連携して、父親の育児参画・地域参画を広げ、子育てのしやすいまちづくりに貢献していく。

■問い合わせ先：代表 高橋 利明（たかはし としあき）  
TEL：080-3207-8855 Eメール：funapapa16@gmail.com

## 〔船橋市手話サークルさざんか〕

### 【団体の概要】

昭和 53 年に設立され、市内で最も会員数の多い手話サークルです。手話を学び、聴覚に障害をもつ人との交流を図りながら、聴覚障害と手話に対する理解を広める活動を行っています。毎月 4 回行う例会では手話学習や講演会、交流会などを行っています。また、社会福祉会館文化祭への参加、船橋市聴覚障害者協会や他の手話サークルと合同での市民まつりへの参加などを通じて、広く一般市民に対する啓発・普及活動も行っています。



【①フィナーレでの手話の大合唱】

## 事業報告

【支援金確定額：167,148 円 支援率：50.0%】

### ■実施した事業の内容

手話や聴覚障害者に対する理解を広げるため、まずは一般市民に手話への興味を持ってもらうことを目的に、手話コーラスを中心としたコンサート「つたえる・つながる ハートフルコンサート」を 12 月 22 日（土）に開催しました。勤労市民センター地下ホールに、300 人を超える来場者を迎えることができたのは、支援金によって入場料を無料にできたことが大きいと思います。

小さな子供たちの手話は感動を呼び、手話コーラスでは、曲に合わせての手話表現の美しさや表情の豊かさなどを堪能してもらえたと思います。また、プロ歌手を招いてのステージでは、そのうち 2 曲を手話付きで披露してもらいました。フィナーレでは、会場も巻き込んで手話での大合唱となりました（写真① 観客もみな手を動かしてくれました）。

曲の合間には司会者・聴覚障害者・手話通訳者の 3 人でミニ手話講座を行いました（写真②）。型にはまった講座ではなく、手話を全く知らない司会者が、漫才のような掛け合いトークの中で他の 2 人から手話を教えてもらうという進行。会場の皆さんも、笑いながら手話を覚えられたと好評でした。

情報保障として、船橋市福祉サービス公社に手話通訳と要約筆記（話の内容を要約して筆記します。文字はスクリーンに映し出されるので皆が共有できます）による通訳を依頼しました。トークだけでなく、手話の振り付けのない曲にも手話通訳を付け、全ての楽曲の歌詞をスクリーンに映し出すことなどで、聞こえに関係なく、会場内の全ての方々に興味を持って楽しんでもらえるよう工夫しました（舞台向かって右側が歌詞、左側が要約筆記のスクリーン）。

### ■支援金の支出内容

支援金は、コンサート出演者への謝礼、会場・備品使用料、チラシ・プログラム等の印刷費、看板作成用消耗品等に支出いたしました。



【②ミニ手話講座】

### ■事業の成果と今後の展望

アンケート回収率約 36%、うち「楽しかった」が 95%、「これをきっかけに手話への興味を持った」が 49%、感想も「手話を覚えられてよかった」「同様の企画があったらまた参加したい」「心温まる感動的なコンサートだった」など好意的な意見が多かったです。手話に興味を持ってもらうという当初の目的は、おおむね達成できたと考えています。

予算や人員面を考慮して、今後は他団体との合同の企画も検討していきたいと思っています。

■問い合わせ先：副会長 岩淵 由貴（いわぶち ゆき）

TEL：090-8493-7133

Eメール：sazanka33syuwa@gmail.com

## 〔ワーカーズコープちば〕

### 【団体の概要】

私たちワーカーズコープちばは地域に必要な仕事を自らおこし、働く協同組合です。

例：地域福祉事業所運営、手作りおべんとう、コミュニティサロン運営、千葉市と習志野市からの生活困窮者自立支援委託事業、建物管理、病院清掃、職業訓練講座運営、フードバンクちば、子ども食堂運営



【回収した制服など】

### 事業報告

【支援金確定額：107,741 円 支援率：50.0%】

### ■実施した事業の内容

船橋市内の公立中学校制服のリユース活動を行いました。着られなくなった制服や、必要のなくなった制服を寄付していただき、補正や名前の刺繍などをはずし洗濯もしくはクリーニングした後に実費程度で必要な人にお渡ししました。

ワーカーズコープちばはもちろん、自治会や町会、ふなばし子ども食堂ネットワークやPTA 联合会にも協力していただき、必要な子ども達へ届くように協力しました。

### ■支援金の支出内容

回収や販売に必要なチラシやポスター作製の費用や、制服を仕分けたりするためのテープや値札などの消耗品、保管や販売のための備品購入、制服のクリーニングや洗濯代として支出しました。



【配布したチラシ】



【メグスパでの出展風景】

### ■事業の成果と今後の展望

今年度は、福祉作業所やシニアボランティアの活躍はもちろん、広報に載せていただいたり、市の施設で啓蒙活動ができたこと、PTA 联合会で話をしたり、前年度課題になっていた『必要な人ほど情報が届きづらい』という情報格差問題に少し近づけたかなと思います。引き続き知ってもらうという事に重点をおいた活動をしていきたいと思っています。

■問い合わせ先：制服バンク担当 及川 恵（おいかわ めぐみ）

TEL：047-467-4920

Eメール：seifuku.bank@gmail.com

## 〔NPO法人環境を考える市民の会〕

## 【団体の概要】

私たちは昔のようなゆとりある「海老川」環境を取り戻し地域住民の幸せかつ安全な生活環境を構築するため、海老川界隈の水環境の再生と保全に向けテーマを設定し、事業を実施しています。近年は野、里山は開拓され機械文明が進み、人それぞれが自然との触れ合う機会も少なく、生活圏に殺伐としたものを感じるため、次世代を継ぐ子供達に、ゆとりと自然の恵みを感じる場を提供する学び塾を実施しています。



【8月地域との触れ合い学びの場】

## 事業報告

【支援金確定額：112,680 円 支援率：50.0%】

## ■実施した事業の内容

- 1) 出前学習の普及啓発実施  
八栄小学校：10月23日(火)4年生120名海老川の水、生き物、生息植物、橋と像、歴史
- 2) 夏休み子供環境「学びの場」雄鹿野自治会館  
8月29日(水)13時～17時  
講義：夏の生き物(ちようちょ羽化するまで)工作：木の実でペンダント
- 3) 地域の自然との触れ合い(長津川をたどり塚田界隈の巨樹と史跡)  
「森(木)と川」11月23日(土)12時～16時30分
- 4) 海老川写生会と自然観察  
3月30日(金)実施

## ■支援金の支出内容

- 1) 報償金は諸事業の講師料として使用
- 2) 消耗品費は工作用原材料及び文具消耗品、教材資料などの印刷用インクカートリッジ、紙などに使用
- 3) 印刷製本・環境学習用に役立てるための教材印刷、マップ印刷  
募集チラシと事業ごとおしらせ、その他諸都度のコピー
- 4) 通信費は都度事業の啓発、募集、切手、ハガキ代
- 5) 使用料は地域の自治会館を実行委員会の会議と事業用に借用
- 6) その他、写生会用画材入れ、画板  
以上事業達成するための諸経費です。



【地域の自然長津川界隈探索(11月)】

## ■事業の成果と今後の展望

昔から海老川は船橋の生活の動線として船橋発祥発展の要と位置付けられ親しまれて来ました。この海老川界隈の環境、里山、谷津田の自然こそが先人の残した尊い遺産だと思っています。この尊い遺産を守るためにも私たちは、この先も環境に対する意識啓蒙、更なる活動と、環境問題を深く考え、良好な環境を次世代に残し、継いでいける事を目的に頑張りたいと思っています。

■問い合わせ先：事務局長 菊地 けい子(きくち けいこ)

TEL：047-465-7790 Eメール：kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp

船橋市 市民生活部 市民協働課  
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25  
TEL : 047-436-3201  
FAX : 047-436-2299  
E-mail : shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp